

遷化の地

法弟の遍澄や島崎村(現長岡市)の木村元右衛門の勧めで移り住んだこの地で良寛は貞心尼や多くの村人と出会い、心穏やかな晩年を送る。



六十九歳になった良寛は厳しい暮ら
しや老齢を心配した周囲の人の勧め
により、十年ほど暮らした乙子神社
草庵から木村家離れの庵室に移つ
た。終の住処となったこの地で、良寛
は貞心尼と出逢う。時に良寛七十
歳、貞心尼三十歳。手まり遊びにた
とえた和歌を詠みかわしたのを機に
始まった二人の清らかな師弟愛は良
寛が七十四歳で遷化するまで続い
た。足掛け六年間続いた心安らかな
交友の様子は、そのとき交わした相
聞歌、歌集「はちすの露」に垣間見る
ことができる。和島にはこの清らかな
師弟愛にちなんで「はちすば通り」と
名付けられた通りがあり、良寛が晩
年を過ごした庵跡や墓など十数カ所
の史跡が点在する。

80 隆泉寺・良寛墓碑

浄土真宗の寺で木村家の菩提
寺。良寛と弟・由之の墓が並
ぶ。大蔵経碑と良寛像がある。



77 桑原家

良寛と親交があった桑原
家は医を業としていた。
個人宅。

74 遍澄法師生家跡

16歳の時、良寛の弟子
となった遍澄法師の生
家跡。

74 島崎橋良寛歌碑

水上交通が盛んだった島
崎川にかかる島崎橋があ
り、脇に良寛歌碑がある。

76 床屋長蔵

豆腐屋九之助
は良寛と親交があった。



78 桐原石部神社

良寛が晩年、咲き誇る藤の
花を詠んだ歌碑がある。



83 はちすば通り

良寛と貞心尼が清らかな師弟愛で唱和した歌を集めた「はち
すの露」にちなんで名付けられた通り。はちすば通りには庵室
跡や墓など多数の史跡が点在する。



79 木村家・庵室跡

良寛は69歳のとき、乙子神社草庵から
木村家の庵室に移住し、晩年を過ごした。
貞心尼とはここで出逢い、初期は弟
由之や、遍澄、貞心尼らに看取られ74歳
の生涯を閉じる。良寛禅師庵室跡碑があ
る。個人宅。



84 良寛の里美術館

良寛と愛弟子・貞心尼の詩歌の書を中心に、ゆかりの文人墨客の作品
を含めて展示。隣接する茶室の「指月亭」までの回廊は四季折々の美
しい風景が楽しめる。館内に良寛と貞心尼の像がある。

時 9:00~17:00 休 年末年始 料 大人500円、小中学生300円
電 0258-74-3700 駐 あり

88 椿の森(熊野神社)

籠田にある熊野神社には、美しい椿が
群生している「椿の森」がある。そばを
流れる川は水上運送の発着点であっ
た。良寛の歌碑がある。



82 妙徳寺

和銅年間開基の真言宗の
古刹。良寛の法弟遍澄法
師の墓がある。7月1日の
灸点(お灸)で有名。



85 和らぎ家周辺歌碑群

周辺には良寛像と歌碑が多数点在している。地元特
産のガンジーミルクを使用したスイーツが味わえる喫
茶コーナーがある。

87 池浦酒造

江戸時代からの酒蔵。良寛の書「天上大風」
と「心月輪」を酒銘にして販売している。

86 もてなし家と道の駅 良寛の里わしま

築180年の古民家を移築した地域交流センター。
郷土料理が楽しめる食事処、地元物産コーナー
がある。道の駅良寛の里わしまが隣接。

72 山田家の桜

良寛は塩之入峠の行き帰りに幾度となく
山田家に立ち寄るなど、親交があった。庭
には枝垂れ桜の老木がある。個人宅。